

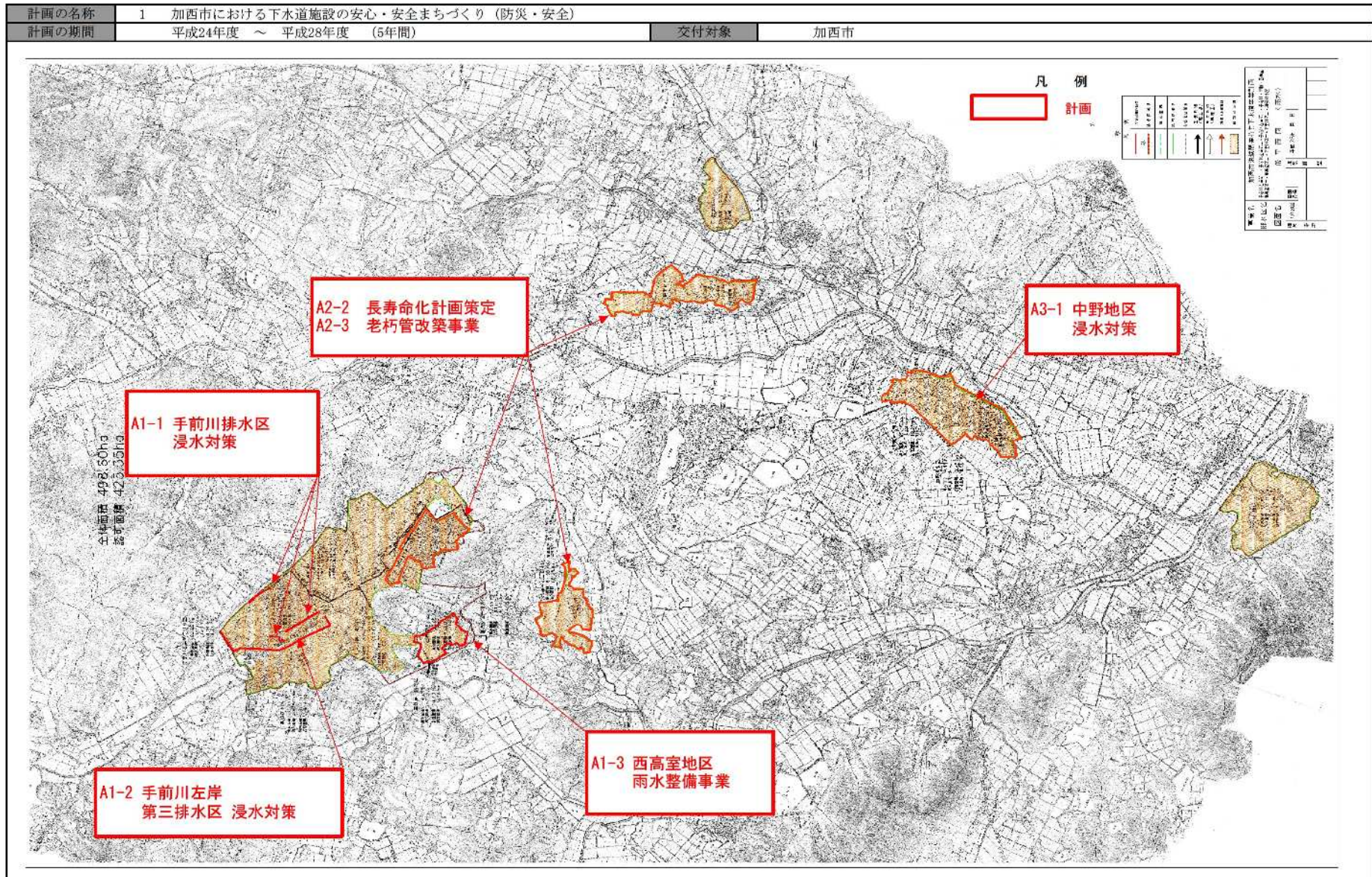
社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年5月10日

計画の名称	加西市における下水道施設の安心・安全まちづくり (防災・安全)																
計画の期間	平成24年度～平成28年度 (5年間)					交付対象	加西市										
計画の目標	下水道施設建設により、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、さらに浸水被害を解消し水害に強いまちづくりをすることを旨とするものである。																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 西高室区画整理区域の下水道施設(雨水)を100%整備する。 浸水被害が発生している地区の雨水管渠整備を行い、7年確率降雨に対する施設整備を68%とする。 公共下水道のうち、改築が必要になっている加西ハイツの管渠を、緊急性のある箇所を優先的に整備する。(緊急度の高い所は70%と想定) 																
定量的指標の定義及び算定式	<p>区画整理事業地内の下水道施設(雨水)をH28年度で100%完成させる。延長比率(平成26～28年に均等整備)</p> <p>都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。</p> <p>下水道による都市浸水達成率(%) = (概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))) * 100 (%)</p> <p>公共下水道のうち、事業期間内において改築すべき老朽管の改築達成度を示すもの。</p> <p>老朽管改築達成度(%) = (目標年次における改築済み老朽管延長 km) / (H24～28年度に改築すべき老朽管延長 km) * 100 (%)</p>										定量的指標の現況値及び目標値	備考					
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)														
	0%	35%	100%														
	62%	63%	68%														
	0%	35%	70%														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	693 百万円	A	693 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	0%					
事後評価																	
◎事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
加西市で実施						平成31年5月											
						公表の方法			加西市ホームページで公表								
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
A1-1	下水道	一般	加西市	直接	-	雨水	新設	手前川排水区浸水対策	□500×800～□1400×1000 L=90m	加西市						62	
A1-2	下水道	一般	加西市	直接	-	雨水	新設	手前川左岸第三排水区浸水対策	□1000×1000～□1000×1200 L=135m(1.9箇所4箇所)	加西市						0	
A1-3	下水道	一般	加西市	直接	-	雨水	新設	西高室地区雨水整備事業	雨水□200×200～□1000×1400 L=75m(既設施設)	加西市						175	
A2-2	下水道	一般	加西市	直接	-	汚水	改築	長寿命化計画策定	長寿命化計画策定(管渠)	加西市						92	
A2-3	下水道	一般	加西市	直接	-	汚水	改築	老朽管改築事業	φ300mm L=921m (管内管・土壌等の改築・更新)	加西市						251	
A3-1	下水道	一般	加西市	直接	-	雨水	新設	中野地区浸水対策	雨水□1000×1000～□1400×1400 L=140m(1箇所)	加西市						113	
A4-1	下水道	一般	加西市	間接	個人	雨水	新設	雨水貯留施設設置整備事業	雨水貯留施設の設定助成	加西市						0	
小計(下水道事業)											693						
合計											693						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 西高室地区内の下水道施設（雨水）整備を完了し、区画整理事業地内の定住の促進に寄与した。 ・ 都市浸水対策として中野地区の下水道施設（雨水）整備に着手した。 ・ 老朽管改築として布設30年以上の長寿命化計画対象管きょに対し管更生を実施し、耐久性の増進を図った。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 区画整理事業地 内の下水道施設 （雨水）整備率	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標② 都市浸水対策地 内の下水道施設 （雨水）整備率	最終目標値	68%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	62.50%		
	指標③ 老朽管改築達成度	最終目標値	70%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	81%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>都市浸水対策地区の下水道施設（雨水）整備について、地元自治会との協議を重ね、整備を継続することにより、水害に強いまちづくりを推進する。 老朽管改築事業について継続して管更生工事を図り、下水道管の耐久性の向上を推進する。</p>					

(図面) 水の安全・安心基盤整備



(図面) 水の安全・安心基盤整備

